

科学館活用 のプログラム紹介も

学校と博物館の効
果的連携で報告会

国立科学博物館は12月
26日、「科学的体験学習
の創造―学校と博物館の

効果的な連携を目指し
て」と題した文科省委託
事業「科学的体験学習プ
ログラムの体系的開発に
関する調査研究」の中間
報告会を行った。

参加。小川鏡和・国立科
学博物館歴史部・学習部
学習課長は、新学習指導
要領を踏まえて開発した
学校と博物館の連携した
体験学習プログラムの特
徴やその成果などについ
て報告した。

事例報告では、伊東由
美・千葉県白井市立南山
中学校教諭が科学館を活
用したプログラムを紹介
した。同プログラムは小・
中の接続を意識し、中
理科の状態変化を粒子モ
デルで考えさせるという

もの。
伊東教諭は「授業時数
の確保などから科学館に
行って体験することは難
しい」とし、「学校には
ない装置を借りて学校で
も行えるプログラムを開
発した」と話した。